

2022年3月期第3四半期

決算説明会

2022年1月27日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

1. 業績概況	P. 4
2. 業績見通し	P. 12
3. 次期中期経営計画の方向性	P. 17
4. 決算添付資料	P. 23
5. 会社情報	P. 36



**2022年4月4日（移行日）より、
当社はプライム市場上場企業へ移行となります。**

今後も皆さまのご期待にお応えすべく、
より一層のガバナンス強化を進め、
中長期的かつ持続的な成長と企業価値の向上を
目指してまいります。

コーポレート・ガバナンス報告書

- 主なExplain項目

- ①サステナビリティに関する項目
- ②社外取締役の比率（過半数）

[コーポレート・ガバナンス報告書はこちら](#)

当社顧問

(就任日:2021/7/16)

富永 由加里 (とみなが ゆかり)

元・株式会社日立ソリューションズ 常務執行役員
森永乳業株式会社 社外取締役 (2020/06～)
株式会社ヤシマキザイ 社外取締役 (2021/06～)

当社顧問

(就任日:2021/7/16)

宮川 由香 (みやがわ ゆか)

元・沖電気工業株式会社 常務執行役員
OKIクロステック株式会社 取締役常務執行役員 (2021/04～)

新顧問

(就任日:2022/1/1)

澤 円 (さわ まどか)

元・日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員
株式会社圓窓 代表取締役 (2019/10～)

業績概況

＝ SB Technology

業績

官公庁や民間企業のDX支援により、
売上高※・営業利益など全指標で過去最高を達成

受注
状況

公共、ソフトバンク(株)に加え、製造業の受注も復調
Q3としては過去最高の受注高、受注残高を達成

通期
見通し

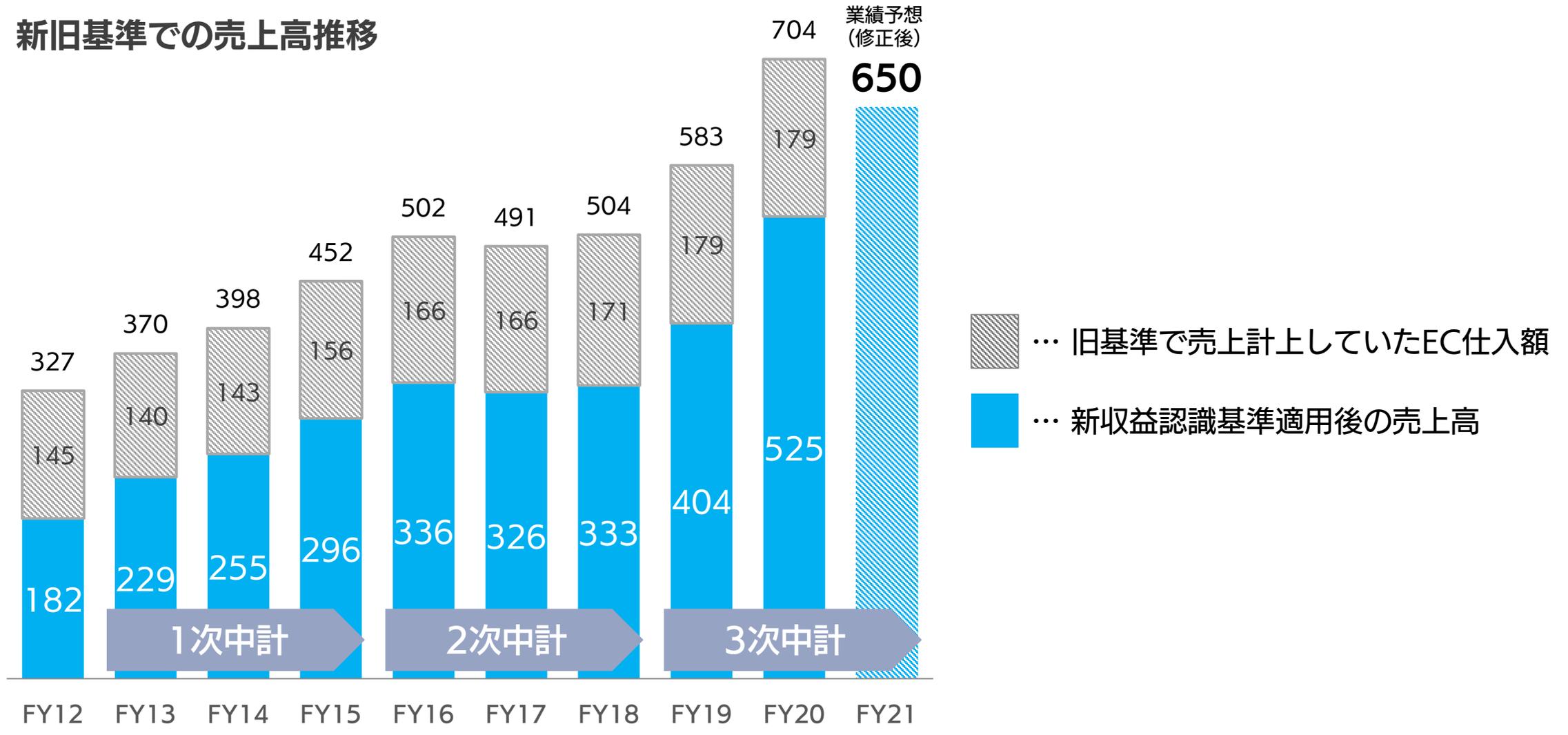
プロジェクトのコスト管理強化により原価低減、
営業利益を50億へ上方修正

本説明資料に関する前提

FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」等（新収益認識基準）を適用しております。

本資料のFY20以前の業績は、主な影響であるECソリューションの売上を純額表示にした未監査の参考値です。

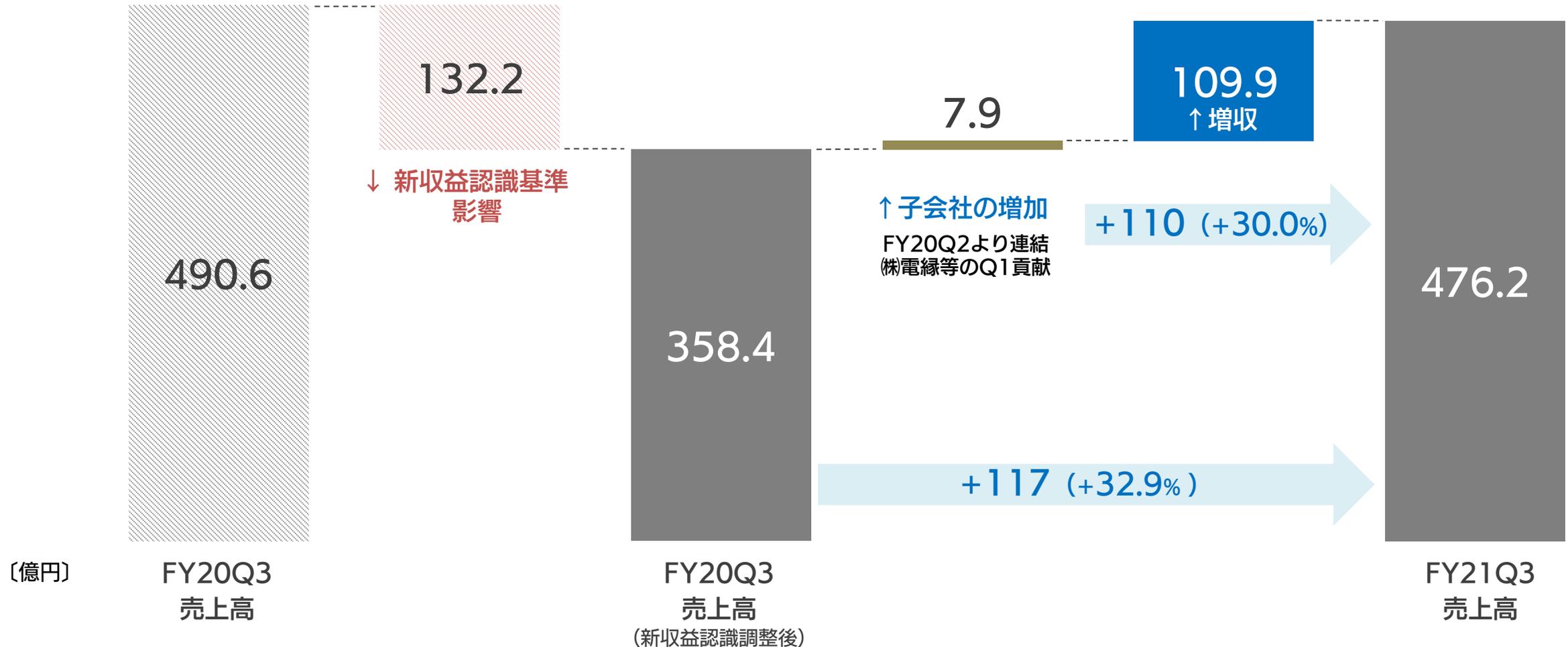
新旧基準での売上高推移



- 企業のDXやデジタルガバメント案件により過去最高の売上・営業利益を達成
- プロジェクトコストの管理強化により、営業利益率も前年比で改善傾向

	〔百万円〕 (利益率)	FY21Q3	FY20Q3	増減額	増減率
売上高		過去最高 47,626	35,842	+11,783	+32.9%
			参考)新収益 認識調整前 49,062	▲1,436	▲2.9%
営業利益		過去最高 3,660 (7.7%)	2,473 (6.9%)	+1,187	+48.0%
経常利益		過去最高 3,622 (7.6%)	2,461 (6.9%)	+1,161	+47.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 2,187 (4.6%)	1,479 (4.1%)	+708	+47.9%

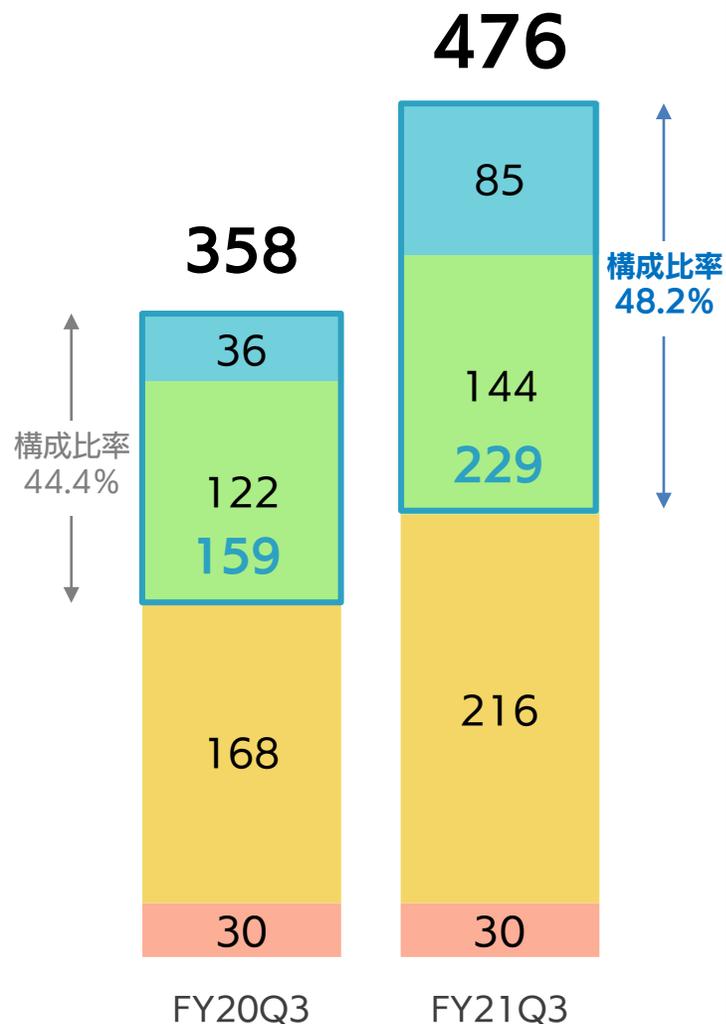
- 農水省やソフトバンク(株)向け案件等により、前期比で実質117億（+32.9%）増収
- 前期Q2からの連結子会社増加影響を除くと、110億（+30.0%）増収



売上高

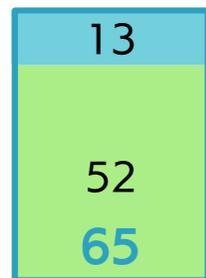
限界利益

〔億円〕
(利益率)



138

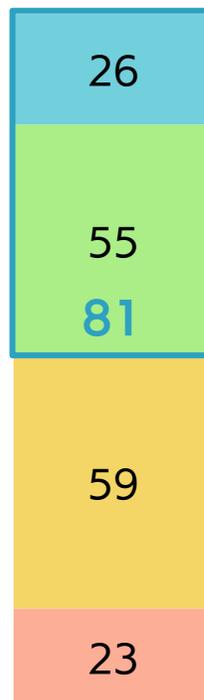
(38.6%)



FY20Q3

165

(34.7%)



FY21Q3

ビジネスIT (BIT) : 増収増益

- デジタル地図案件で引当を行ったが、農水省向け電子申請基盤の運用コストを抑えて増益

コーポレートIT (CIT) : 増収増益

- クラウド導入及びクラウドセキュリティの需要が増加、次期自治体情報SC※の構築フェーズにより伸長

テクニカル (TS) : 増収増益

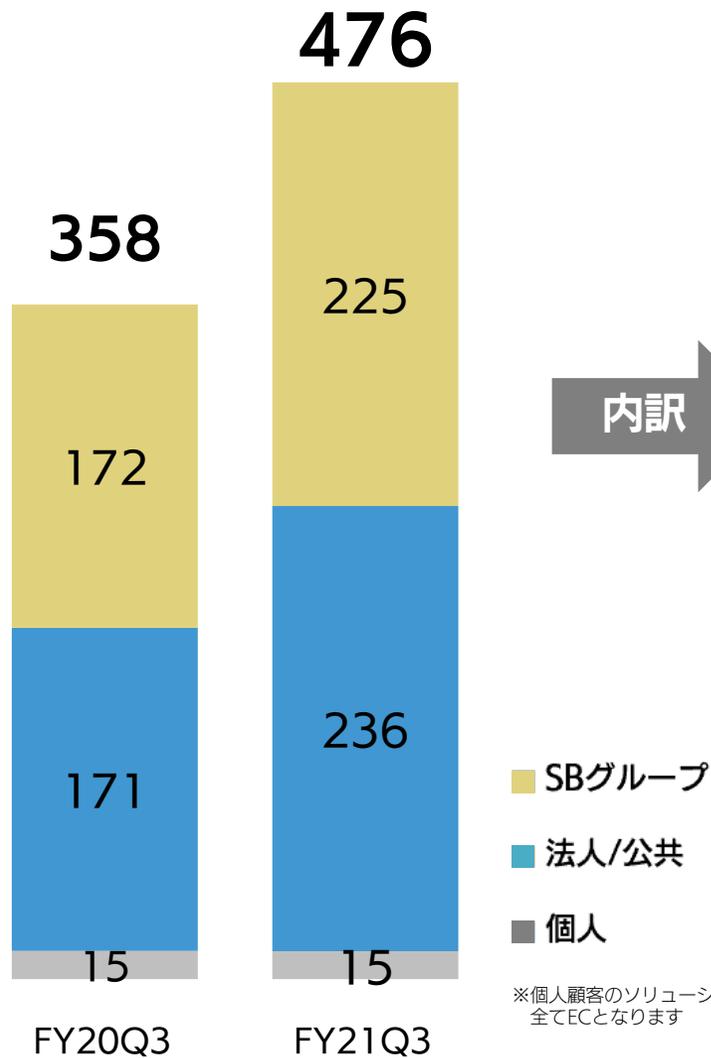
- 戦略的SIerとしてソフトバンク(株)向けのシステム開発や運用案件が増加、領域の拡大はQ3で一巡

EC : 横ばい

- 概ね堅調に推移

※セキュリティクラウドの略称

顧客別



内訳

- SBグループ
- 法人/公共
- 個人

※個人顧客のソリューション区分は全てECとなります

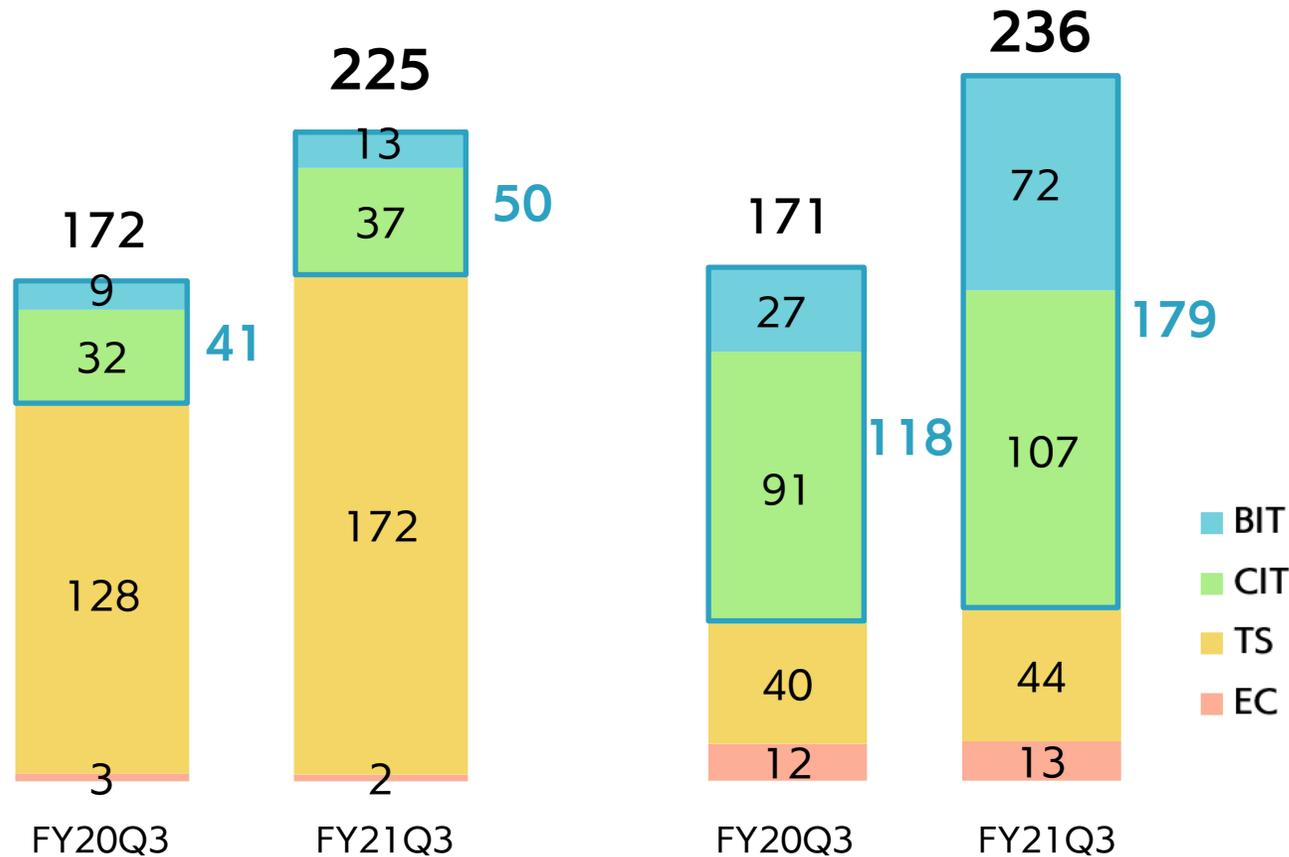
顧客別 × ソリューション区分

ソフトバンクグループ各社

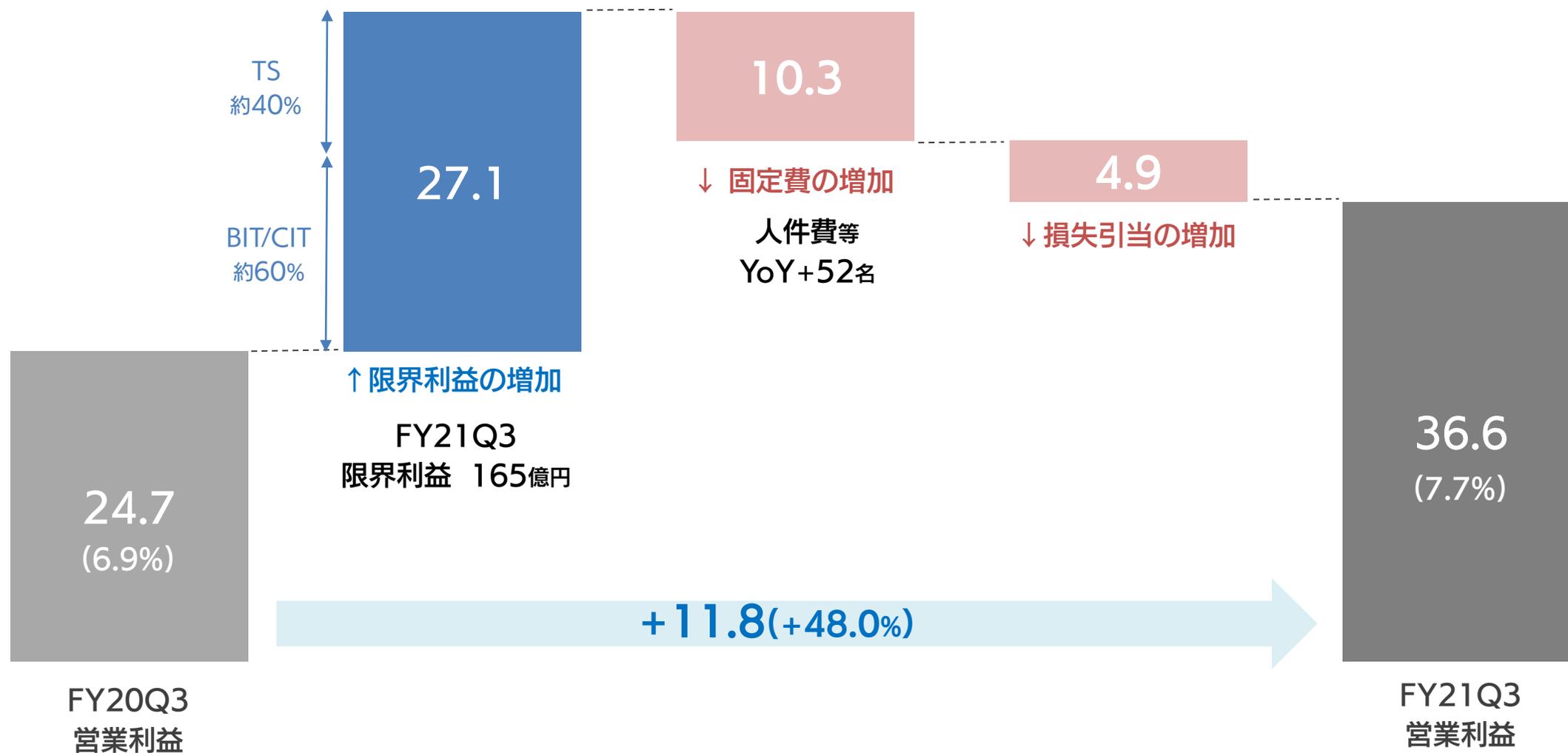
- BIT：WEBサイト刷新案件により増収
- CIT：クラウド関連開発が増加
- TS：ソフトバンク(株)案件の範囲拡大による大幅増収

法人 / 公共

- BIT：農水省の電子申請やデジタル地図案件で増収
製造業向けも前期比1.5倍超と順調に伸長
- CIT：クラウド運用やセキュリティ案件が増加
次期自治体情報SCも構築フェーズを計上



- 公共案件などの事業拡大やコスト改善に伴い限界利益は増加
- 人件費や採用強化などによる固定費増はあるものの、11.8億 (+48.0%) 営業利益増



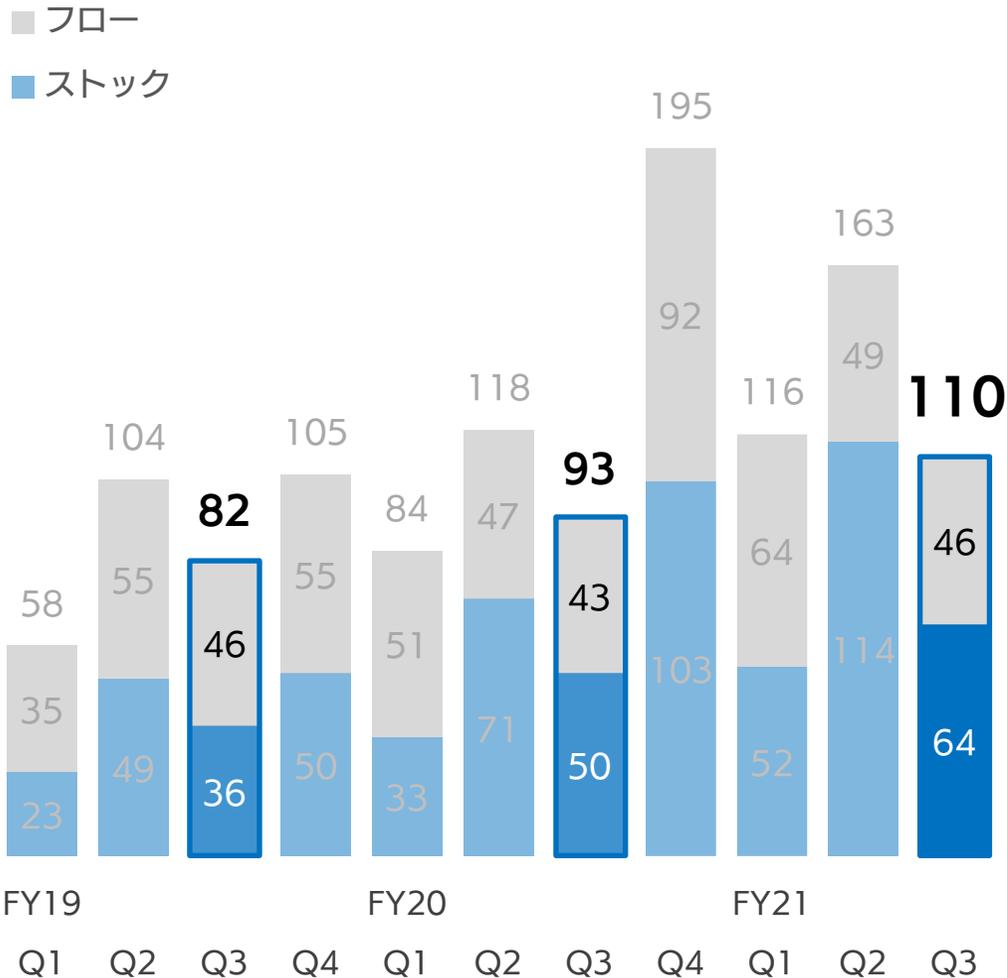
業績見通し

＝ SB Technology

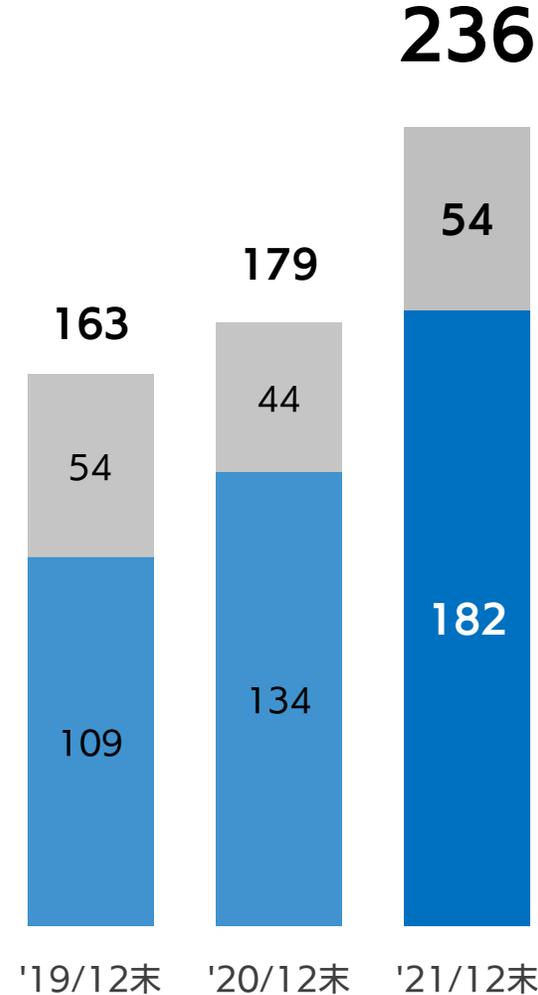
【単体】受注高 / 受注残高 (ECソリューション除く) | 2022年3月期第3四半期

(億円)

受注高の推移



受注残高



Q3/主な受注案件

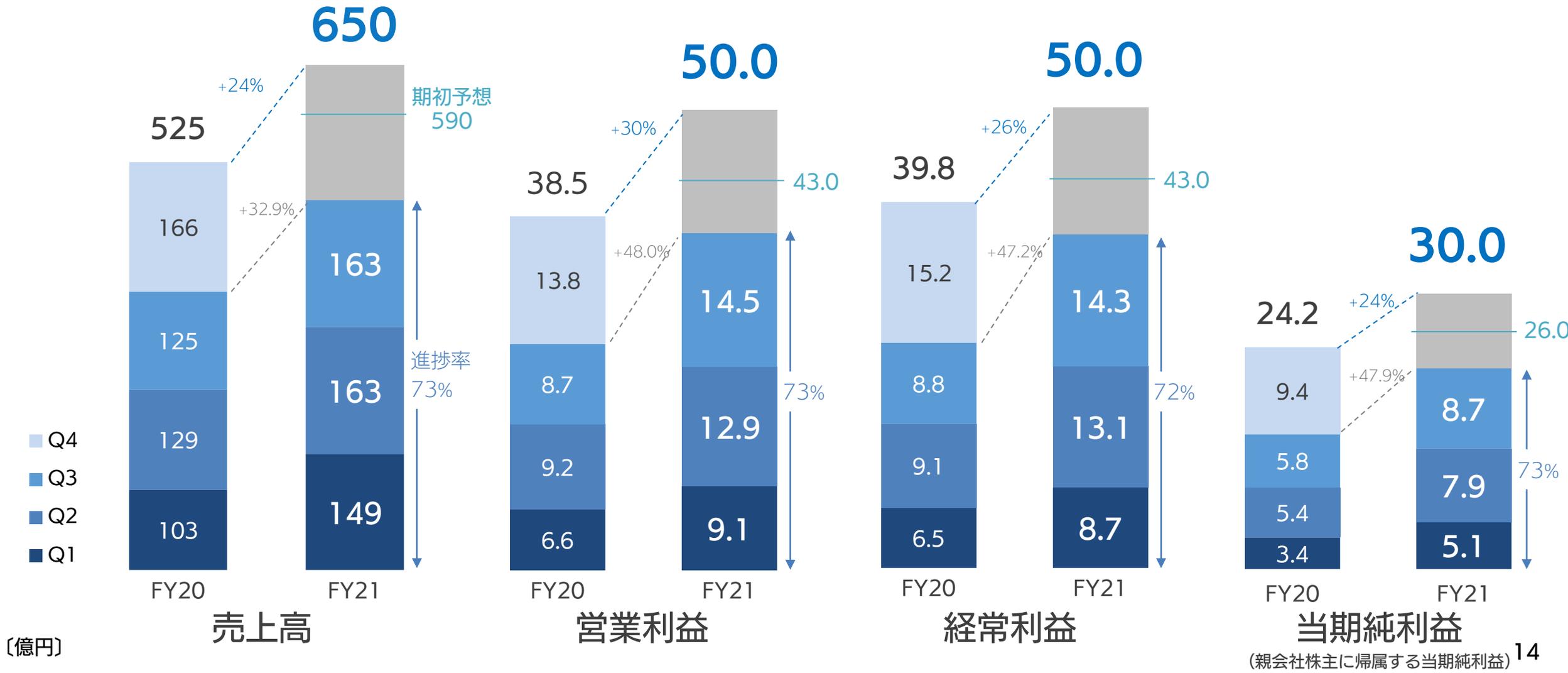
- ソフトバンク(株)向け案件が順調に拡大
- 製造業向け開発案件や情報SCの長崎県を受注
- 受注残のうち、5割程度が当期売上予定

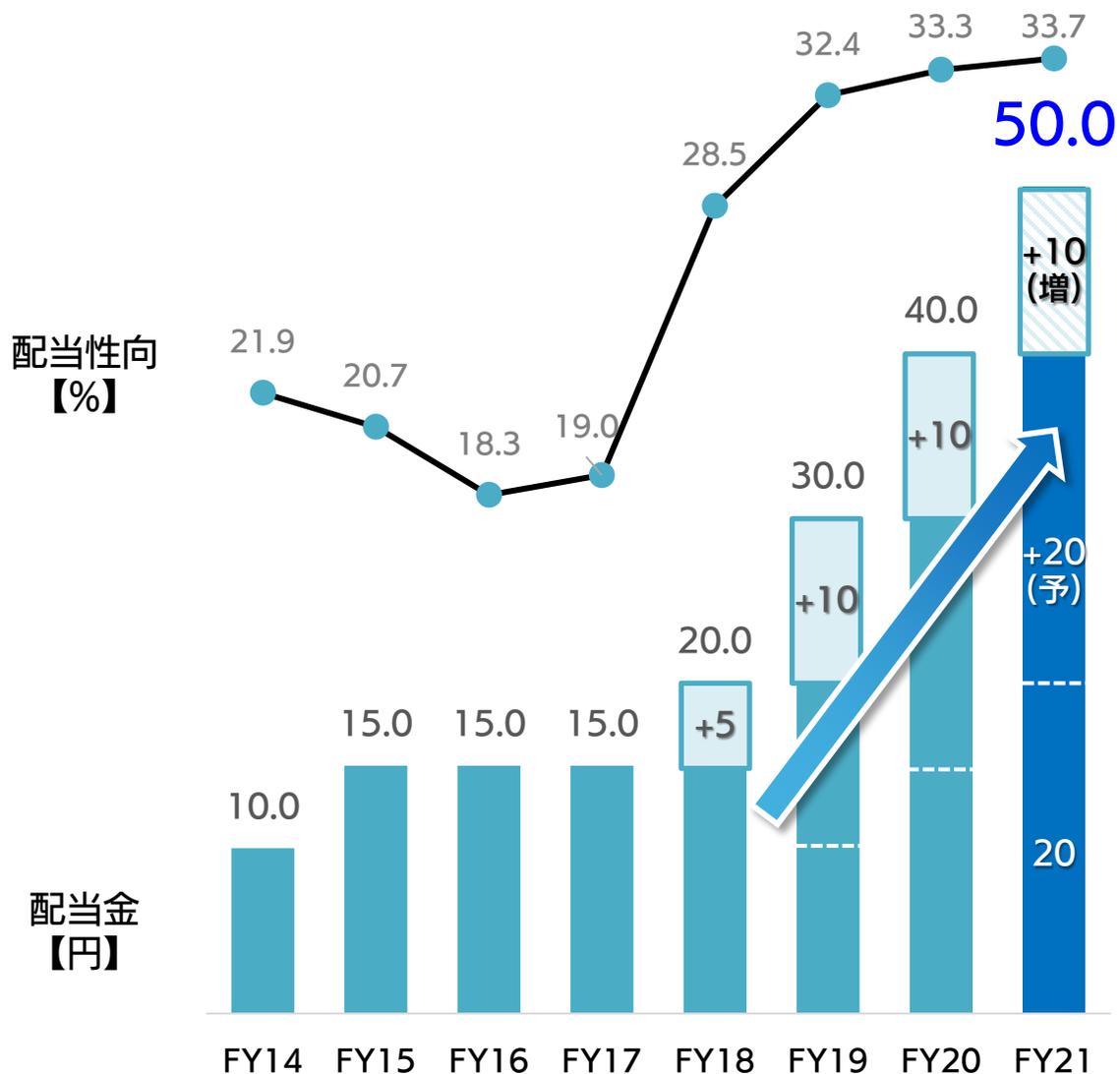
単体受注残高(前年同期比)

32.2%増

通期業績予想
(2022年1月27日修正)

- コストの管理強化により原価低減をした結果、
通期営業利益は期初予想の43億円から50億円に再度上方修正





2022年3月期の当期純利益は
30億円(前期比+24%)を達成見込み

株主還元の拡充として
期末配当金 10円増配(予定)

(※) 2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、配当額を調整しております。

第3次中期経営計画 / FY21 経営指標

達成
見込み

1. 営業利益 43億円^{※1}

達成
見込み

2. BIT & CIT^{※2} 売上高構成比率 50%へ

達成
見込み

3. ROE 13%

※1) FY18連結営業利益25億円を起点にCAGR 20%

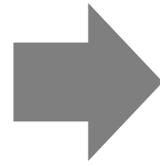
※2) FY21の売上高に占めるビジネスITソリューション(BIT)及びコーポレートITソリューション(CIT)の割合

次期中期経営計画の方向性

＝ SB Technology

東京証券取引所の 再編

2018年10月に
「市場構造の在り方等に関する懇談会」が設置



更なる企業価値向上 が必要

企業価値向上に向けた売上/利益の増加が必要

● 親会社の変更

ソフトバンクグループ(株)からソフトバンク(株)へ



ソフトバンク(株)とのシナジー創出で売上/利益増

- ベンダ-マネジメント案件での開発パートナーを外販へ
- 先端事例を協業し、その取り組みを外販へ展開

● 新会計基準への対応

FY18売上高504億円 → 新基準で333億円



適用時(FY21)までに200億円超の増収

- 新基準適用後のFY21売上高はFY18比+300億円超の増収見込

● 所有から利用へ

物販からの脱却



SI&サービスの強化と付加価値創出(利益増)

- クラウド/セキュリティ領域での付加価値を増大
- IT人材の不足もあり、サービスを強化

2030年を見据えて

2018年当時の分析

世の中の動向

- 労働人口減少 / 少子高齢化
- IT / セキュリティ人材不足
- サイバー攻撃増加 (東京五輪)
- マイナンバー / 個人情報保護法
- 5G、AI、IoT、xR、RPAの普及
- サイバーセキュリティ基本法
- NOTICE(IoT) / GDPR対応
- ロボット、ドローン
- 自動運転車進化、MaaS
- オンプレシステムのEOLの波

顧客の動向・課題

コーポレートIT (IT部門)

- 本業成長のための事業部門向けIT支援
- クラウドファースト / 業務アウトソース加速
- 働き方改革推進のためのIT利活用

ビジネスIT (事業部門)

- 不確定・変化のスピードに合わせた事業戦略遂行
- 競争力強化のための先端技術を活用
- 事業のグローバル化

外部環境
コロナ発生

顧客環境
官民でDX加速

追い風

長期目標

日本企業の競争力を高める
クラウドコンサル&サービスカンパニーへ

第3次中期計画 重点テーマ

サービスプロバイダーへの進化

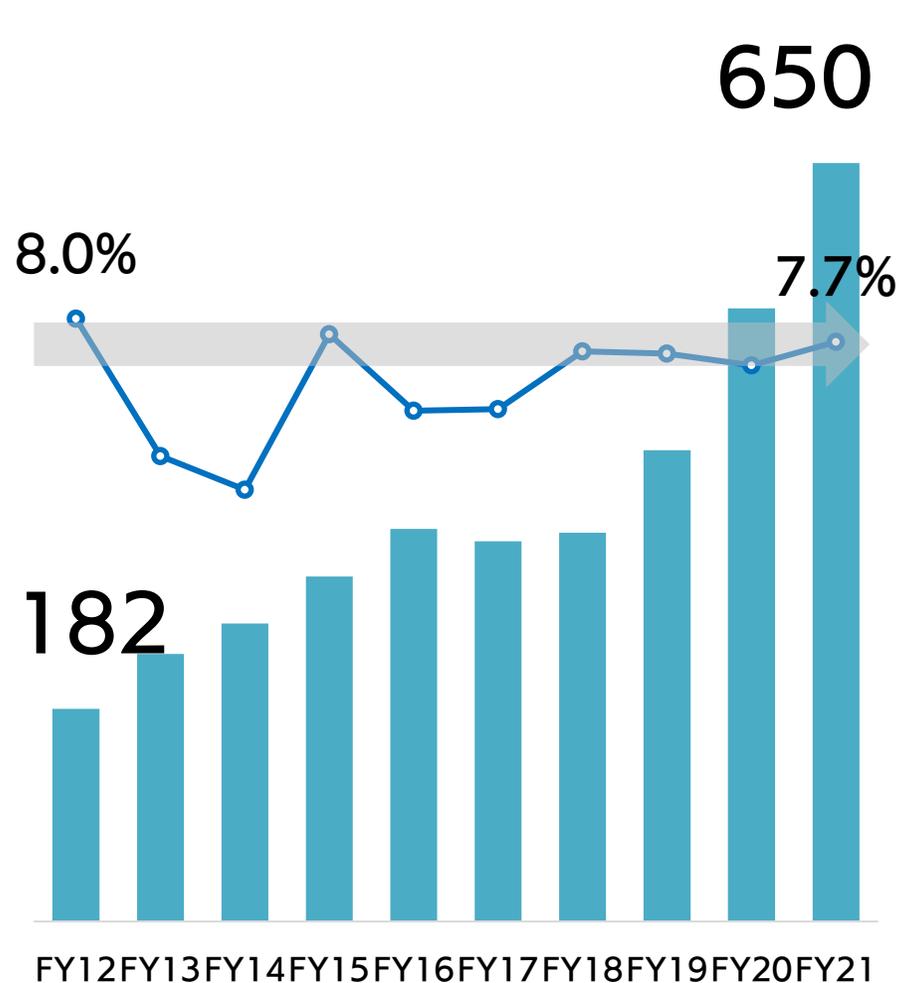
- IT人材の不足からサービス事業へ注力
- 顧客も常にアップデートされる「増価蓄積」の商材へ

コンサルティング&ビジネスITの創出

- 競争力強化のため事業とITをつなぐコンサル力を強化
- 顧客が業務アプリを作成可能なプラットフォーム提供

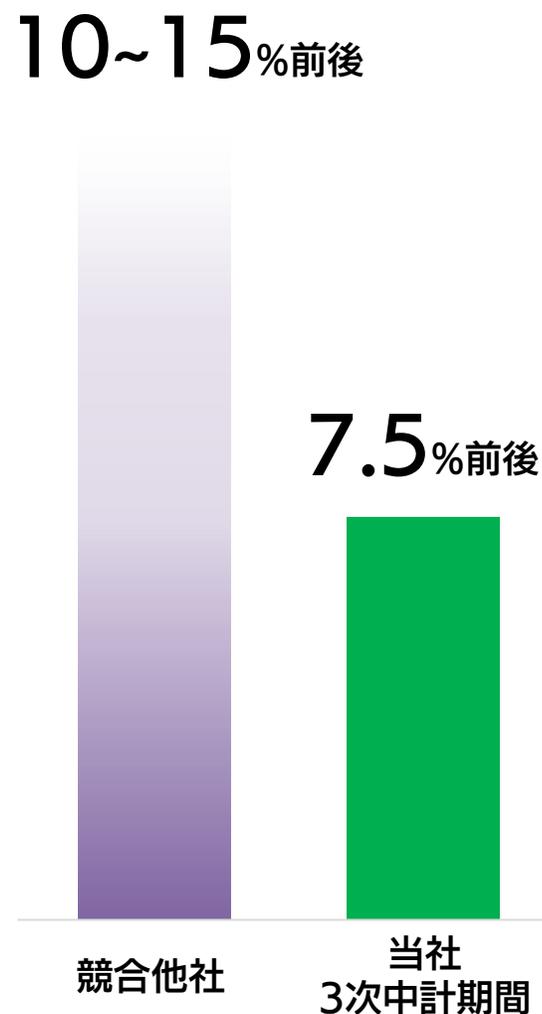
収益性の向上に向けて

業績推移



〔億円〕

営業利益率の他社比較



第3次中期経営計画では
売上・利益の規模拡大を達成

一方で、

営業利益率は横ばいで推移

同業他社と比較しても、
収益性向上の余地はあり

次期中計は**収益性の更なる向上、サービス事業の確立**をテーマに検討中

継続・強化

変更・見直し

SI

- 顧客のDX推進のためクラウド開発支援
- 製販一体による顧客競争力強化のため上流のコンサルを含めた提案・開発

- 標準化、ソリューション型での提供など利益率が向上できる開発体制
- 不採算案件低減のためのチェック機能・体制の強化

サービス

- 高度な専門知識が必要なセキュリティ対策とサービスを提供（MSS※¹/自治体情報SC※²）
- 現場主体で活用できるプラットフォーム型
例：農林水産省の電子申請サービス

- 差別化の難しいクラウド利活用サービスの再定義
- 販売パートナーによる拡販体制

EC

- ノートンライフロック社の方針変更により
今後は自動更新分のみを対応予定

- 成長領域であるSI&サービス事業へ
リソースの再配置

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology

決算添付資料

＝ SB Technology

	(百万円) (利益率)	FY21Q3	FY20Q3	増減額	増減率
売上高		過去最高 16,309	12,556	+3,753	+29.9%
			参考)新収益 認識調整前 17,197	▲888	▲5.2%
営業利益		過去最高 1,454 (8.9%)	877 (7.0%)	+576	+65.7%
経常利益		過去最高 1,433 (8.8%)	885 (7.1%)	+547	+61.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 871 (5.3%)	586 (4.7%)	+284	+48.6%

連結業績（百万円）	FY20Q1	FY20Q2	FY20Q3	FY20Q4	FY20	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	前期比	
									増減額	増減率
売上高	10,375	12,910	12,556	16,690	52,533	14,994	16,322	16,309	+3,753	+29.9%
BITソリューション	1,145	1,369	1,173	2,740	6,429	2,440	2,838	3,230	+2,056	+175.2%
CITソリューション	3,733	4,655	3,853	5,418	17,660	4,601	5,178	4,671	+817	+21.2%
テクニカルソリューション	4,346	5,967	6,575	7,504	24,394	6,847	7,333	7,432	+857	+13.0%
ECソリューション	1,149	918	953	1,027	4,049	1,104	971	975	+21	+2.3%
売上原価	7,942	10,123	9,835	13,248	41,150	12,039	12,905	12,737	+2,901	+29.5%
売上総利益	2,433	2,787	2,720	3,442	11,383	2,954	3,416	3,571	+851	+31.3%
販売管理費	1,766	1,859	1,842	2,059	7,527	2,042	2,123	2,117	+274	+14.9%
営業利益	666	928	877	1,382	3,855	912	1,293	1,454	+576	+65.7%
営業外損益	▲8	▲11	8	137	125	▲34	19	▲20	▲28	-
経常利益	658	917	885	1,520	3,981	877	1,312	1,433	+547	+61.9%
特別損益	▲5	▲44	49	▲100	▲100	19	▲21	▲1	▲50	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	348	543	586	949	2,428	516	799	871	+284	+48.6%
限界利益	4,017	4,969	4,833	5,999	19,926	5,297	5,527	5,702	+869	+18.0%
固定費	3,350	4,041	3,955	4,616	16,071	4,384	4,233	4,248	+292	+7.4%
単体 受注残高	16,537	18,204	17,910	24,076	24,076	23,657	26,403	23,678	+5,768	+32.2%

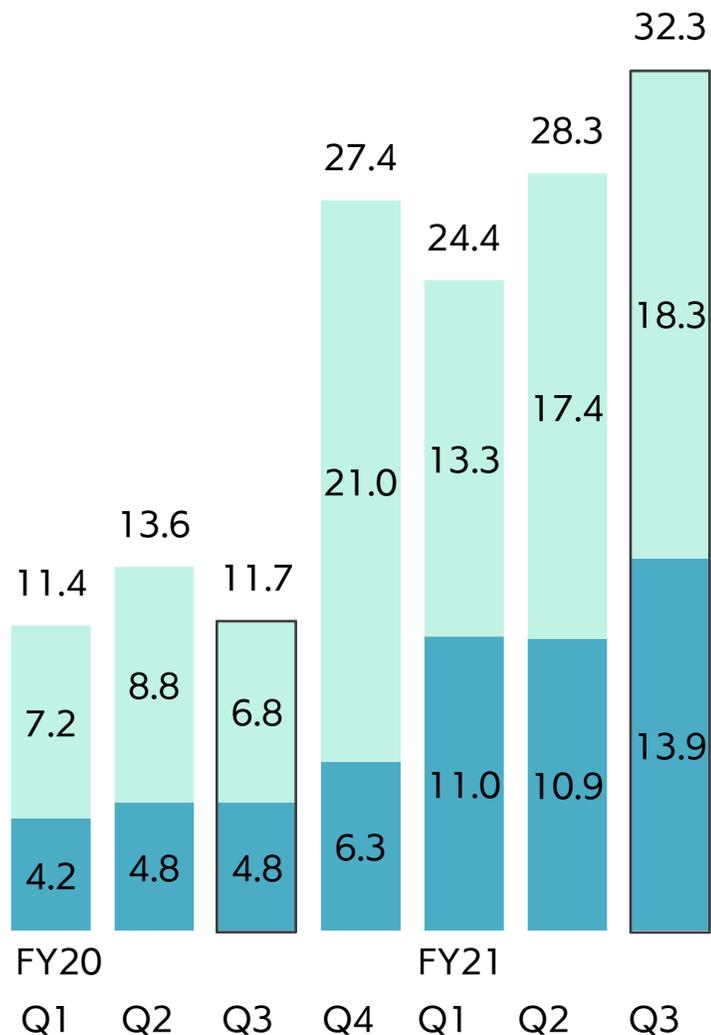
※一部のプロジェクトに関してソリューション区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

		FY20Q1	FY20Q2	FY20Q3	FY20Q4	FY20	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	前期比	
										増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	10,375	12,910	12,556	16,690	52,533	14,994	16,322	16,309	+3,753	+29.9%
	限界利益	4,017	4,969	4,833	5,999	19,819	5,297	5,527	5,702	+869	+18.0%
	利益率	38.7%	38.5%	38.5%	35.9%	37.7%	35.3%	33.9%	35.0%	▲3.5pt	-
BITソリューション	売上高	1,145	1,369	1,173	2,740	6,429	2,440	2,838	3,230	+2,056	+175.2%
	限界利益	321	596	448	902	2,269	687	861	1,105	+656	+146.4%
	利益率	28.1%	43.5%	38.2%	32.9%	35.3%	28.2%	30.3%	34.2%	▲4.0pt	-
CITソリューション	売上高	3,733	4,655	3,853	5,418	17,660	4,601	5,178	4,671	+817	+21.2%
	限界利益	1,639	1,860	1,747	2,098	7,345	1,761	1,903	1,933	+186	+10.6%
	利益率	43.9%	40.0%	45.4%	38.7%	41.6%	38.3%	36.8%	41.4%	▲4.0pt	-
TSソリューション	売上高	4,346	5,967	6,575	7,504	24,394	6,847	7,333	7,432	+857	+13.0%
	限界利益	1,145	1,814	1,923	2,196	7,079	1,989	2,026	1,928	+4	+0.3%
	利益率	26.4%	30.4%	29.3%	29.3%	29.0%	29.1%	27.6%	25.9%	▲3.3pt	-
ECソリューション	売上高	1,149	918	953	1,027	4,049	1,104	971	975	+21	+2.3%
	限界利益	910	698	713	802	3,124	858	735	734	+21	+3.0%
	利益率	79.2%	76.1%	74.8%	78.1%	77.2%	77.7%	75.7%	75.4%	+0.5pt	-
注力事業 合計	売上高	4,879	6,024	5,027	8,158	24,089	7,042	8,017	7,901	+2,874	+57.2%
	限界利益	1,961	2,456	2,196	3,000	9,615	2,449	2,764	3,039	+842	+38.4%
	利益率	40.2%	40.8%	43.7%	36.8%	39.9%	34.8%	34.5%	38.5%	▲5.2pt	-
	売上高構成比率	47.0%	46.7%	40.0%	48.9%	45.9%	47.0%	49.1%	48.5%	+8.4pt	-

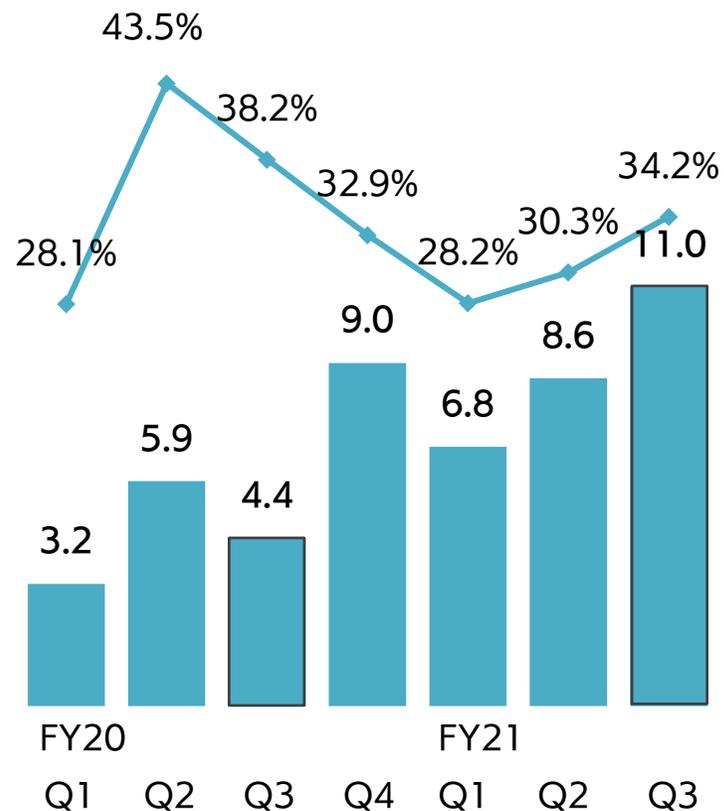
※一部のプロジェクトに関してソリューション区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

売上高

■ ストック ■ フロー



限界利益



事業部門向けクラウドビジネス

主な顧客：グローバル製造業、建設業、農業関連
 お客様のサービス開発、業界特化サービスの開発・提供、
 そのための協業・PoC(実証実験)などが主。

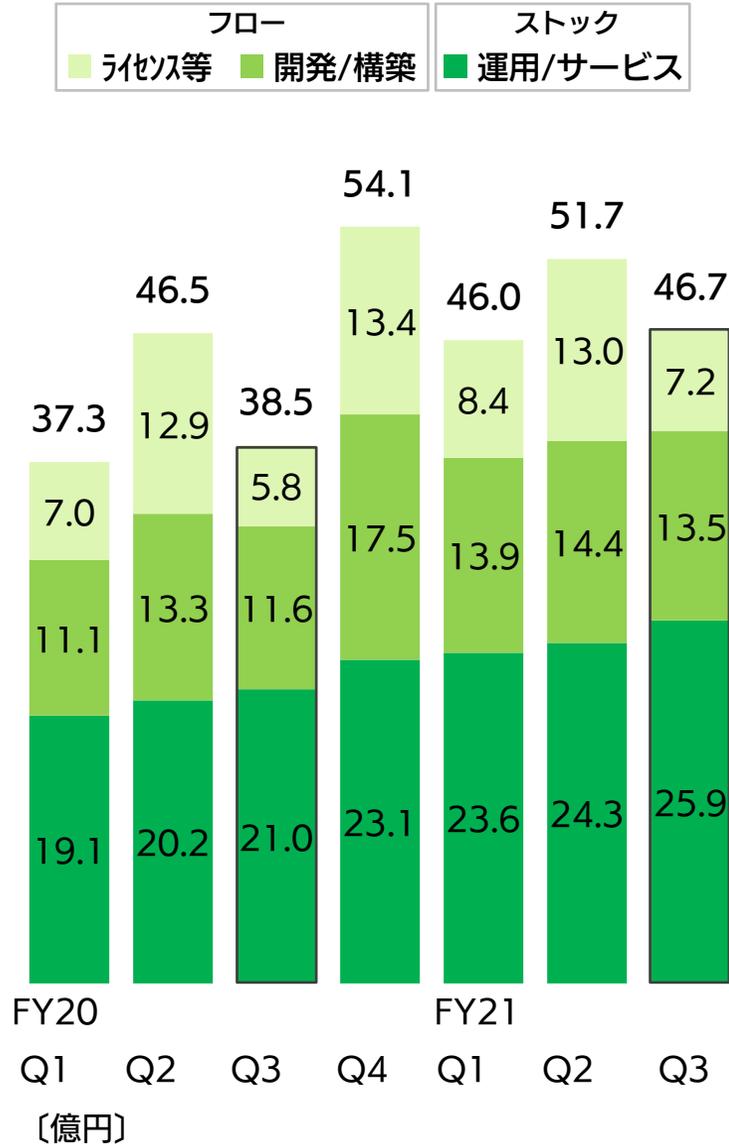
フロー

農水省の電子申請基盤追加開発や
 デジタル地図案件が進捗
 製造業向けクラウドシステムの
 構築案件が進捗

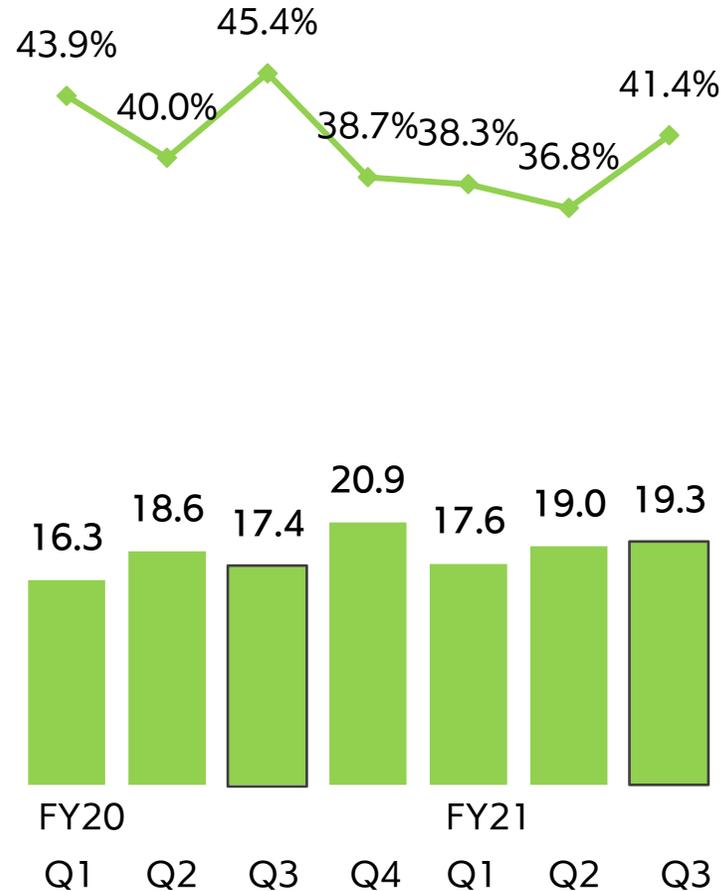
ストック

農水省電子申請基盤や全国農地ナビ
 の運用が順調に推移

売上高



限界利益



全社・管理部門向けクラウドビジネス

主な顧客：法人、自治体・独法、ソフトバンク各社

マイクロソフト社の Microsoft 365 (SaaS) や Azure (PaaS) を活用したソリューション、サイバー攻撃対策、自社サービスである clouXion (クラウドジョブ) 及びマネージドセキュリティサービス (セキュリティ運用監視) の提供が主。

フロー

SBグループ・法人において
クラウド構築案件が増加
前期高利益率だった案件の収束に
伴い利益率が低下

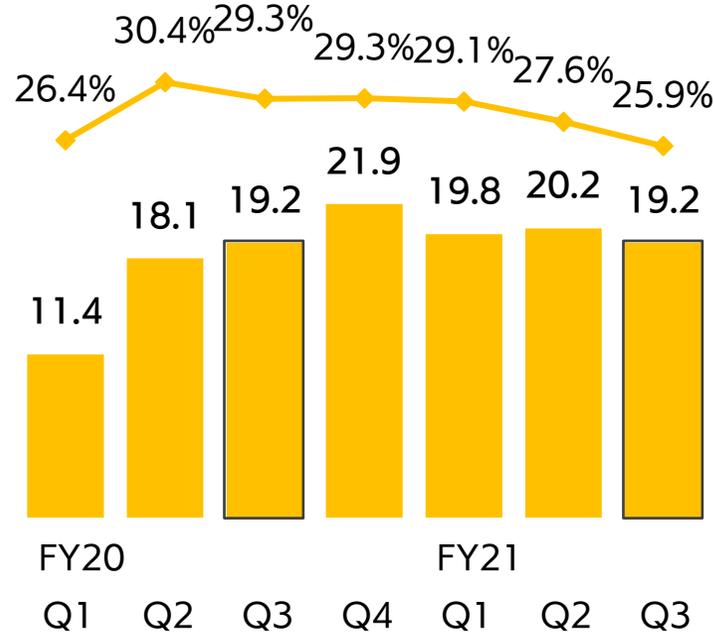
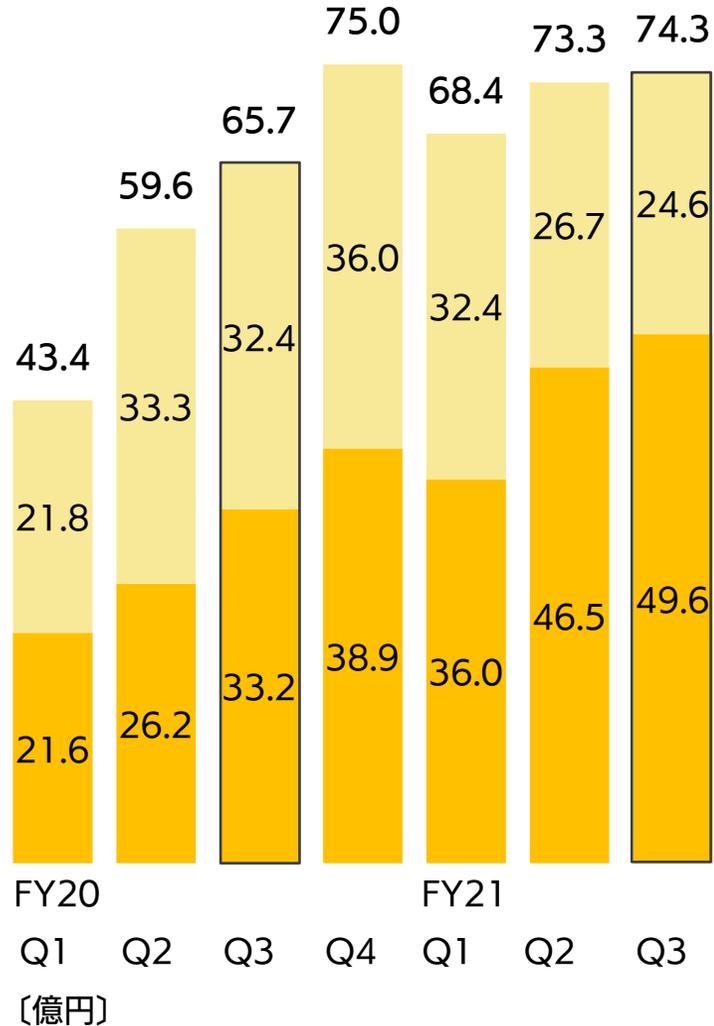
ストック

YoY約+4.9億 (+23%)
公共向けマイクロソフト関連の運用
増加、次期自治体情報セキュリティ
クラウドの初期構築開始

売上高

限界利益

■ フロー ■ ストック



オンプレミス向けビジネス

(プライベートクラウド含む)

主な顧客：ソフトバンク各社

お客様のオンプレミス・プライベートクラウドのシステム構築・運用保守が主。パブリッククラウドへの移行提案も実施。

フロー

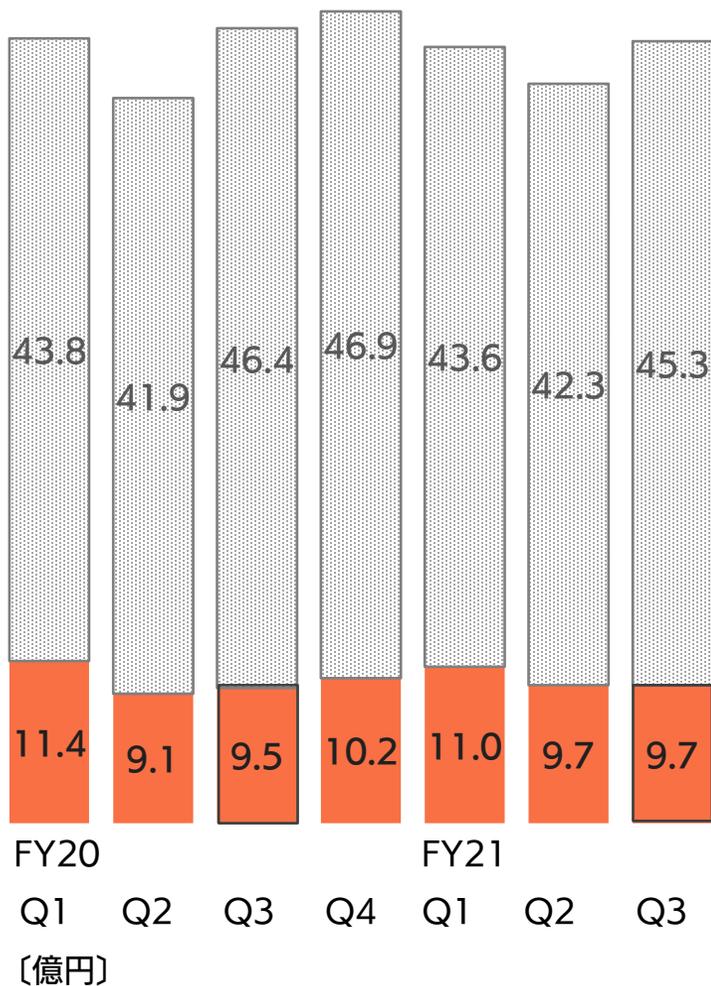
ベンダーマネジメント案件の標準化が進みストックへ
ベンダーマネジメントからの派生案件が拡大

ストック

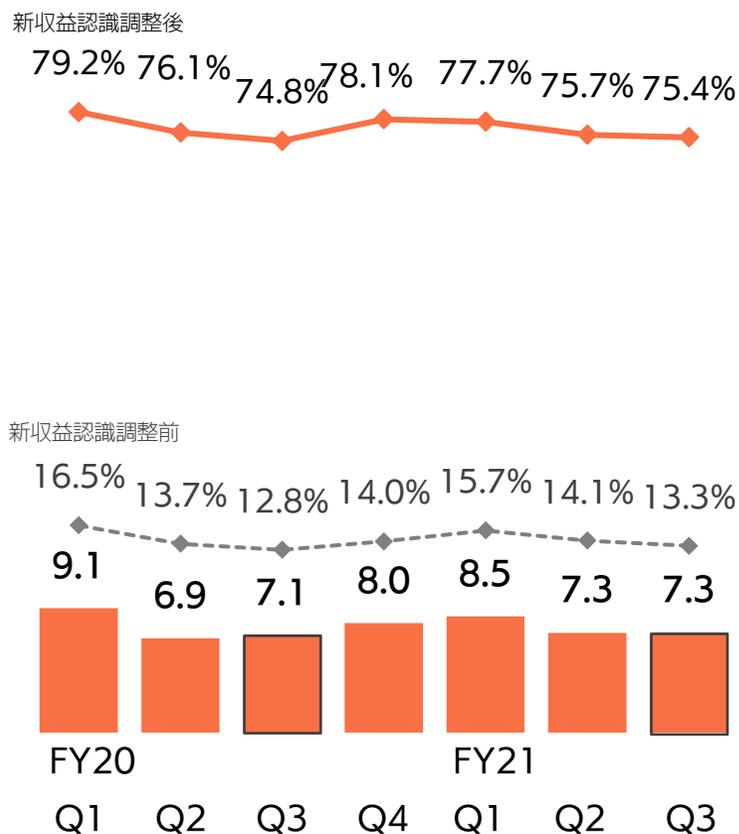
YoY約+16億 (+49%)
ベンダーマネジメント案件の拡大と標準化によるストック化が進捗

売上高

■ 新収益認識基準で売上計上しない仕入額
(未監査の参考値)



限界利益



ECサイト運営代行/フォントライセンス販売

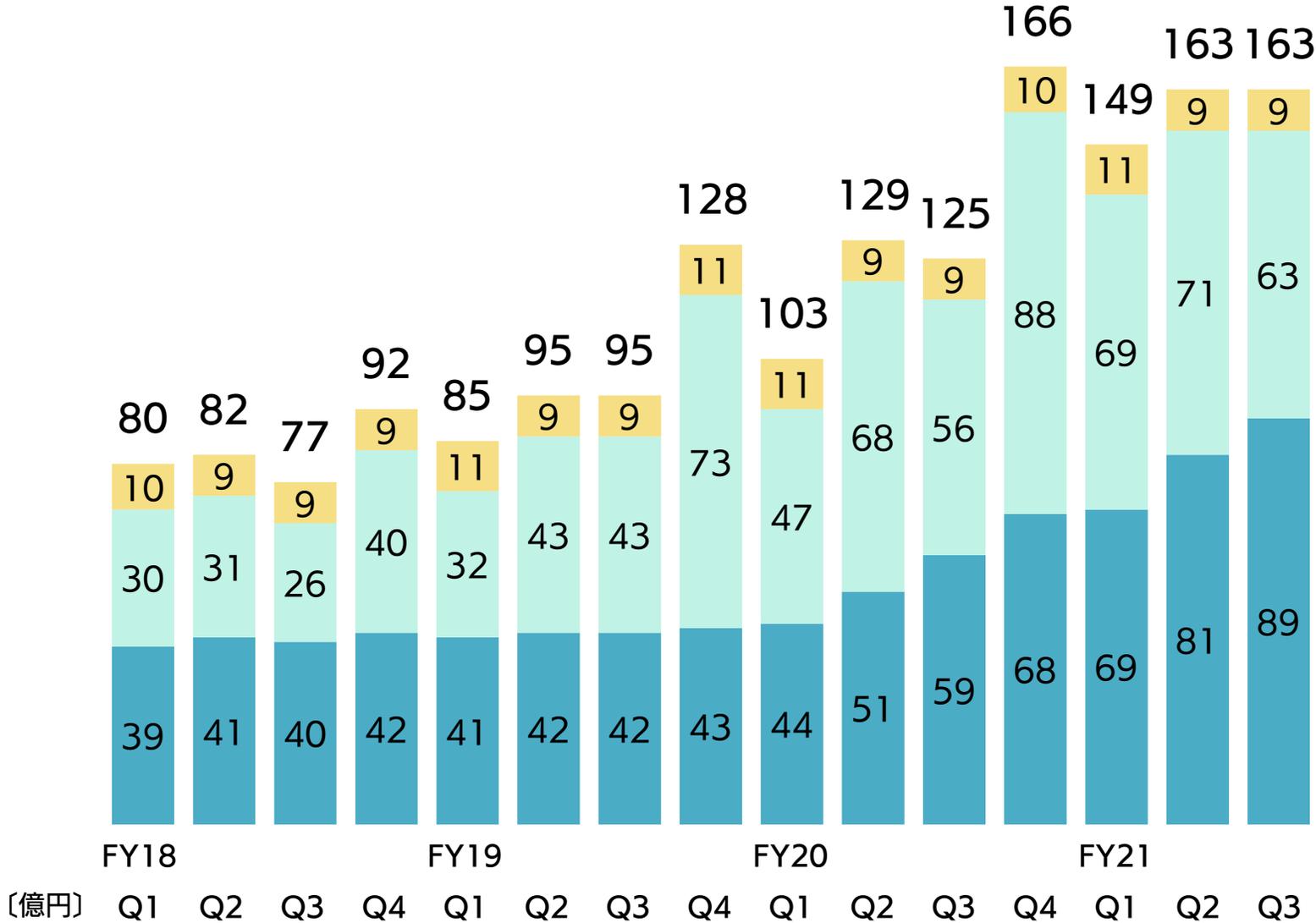
主な顧客：個人

EC運営代行や、ECサイト構築から運用が主。
フォントにおいては、フォント（書体）の企画・開発・販売
およびソフトウェアの開発を実施。

FY21Q1～新収益認識基準適用により
一部サービスの売上高が純額計上に変更

ノートンストア運営代行、および
フォント事業は堅調に推移

■ EC ■ フロー ■ ストック



Q3ストック売上高 (前期比)

30.3億円増

Q3累計ストック売上高 (前期比)

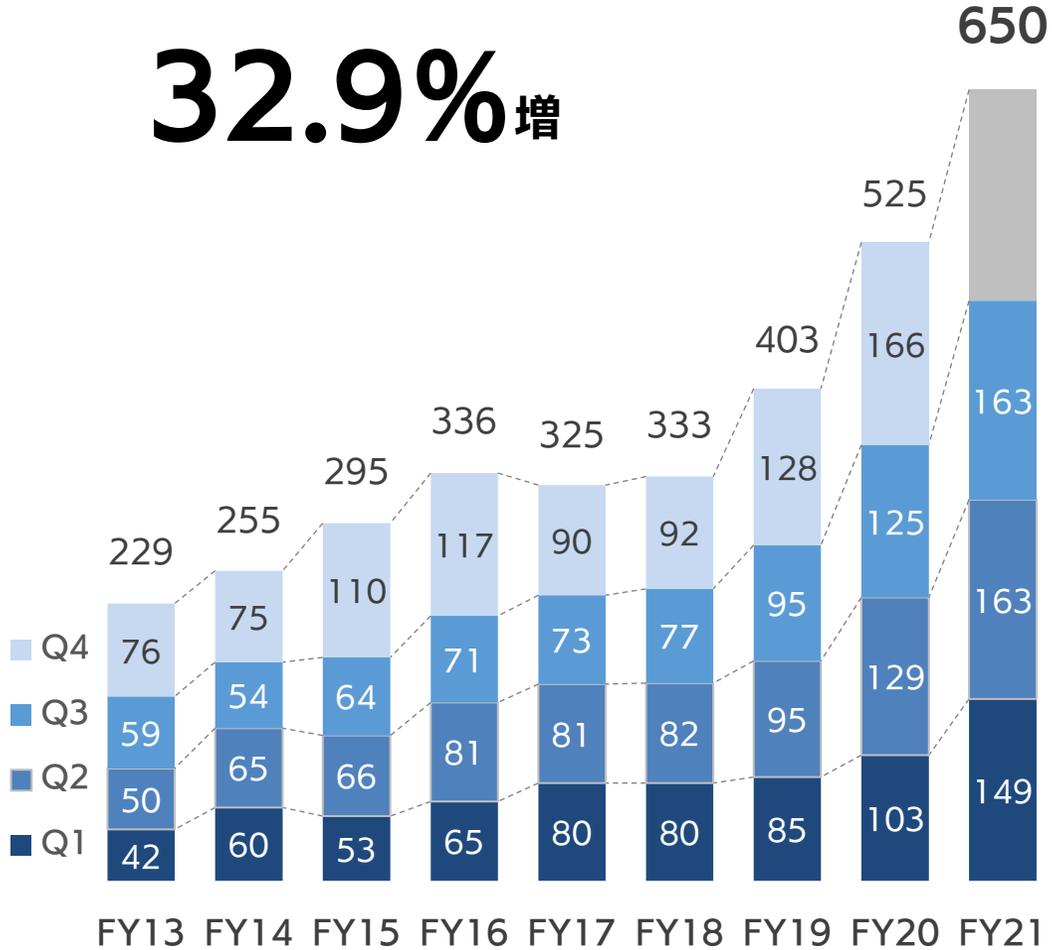
85.4億円増

中計目標 営業利益CAGR 20%成長

(FY18連結営業利益25億円を起点)

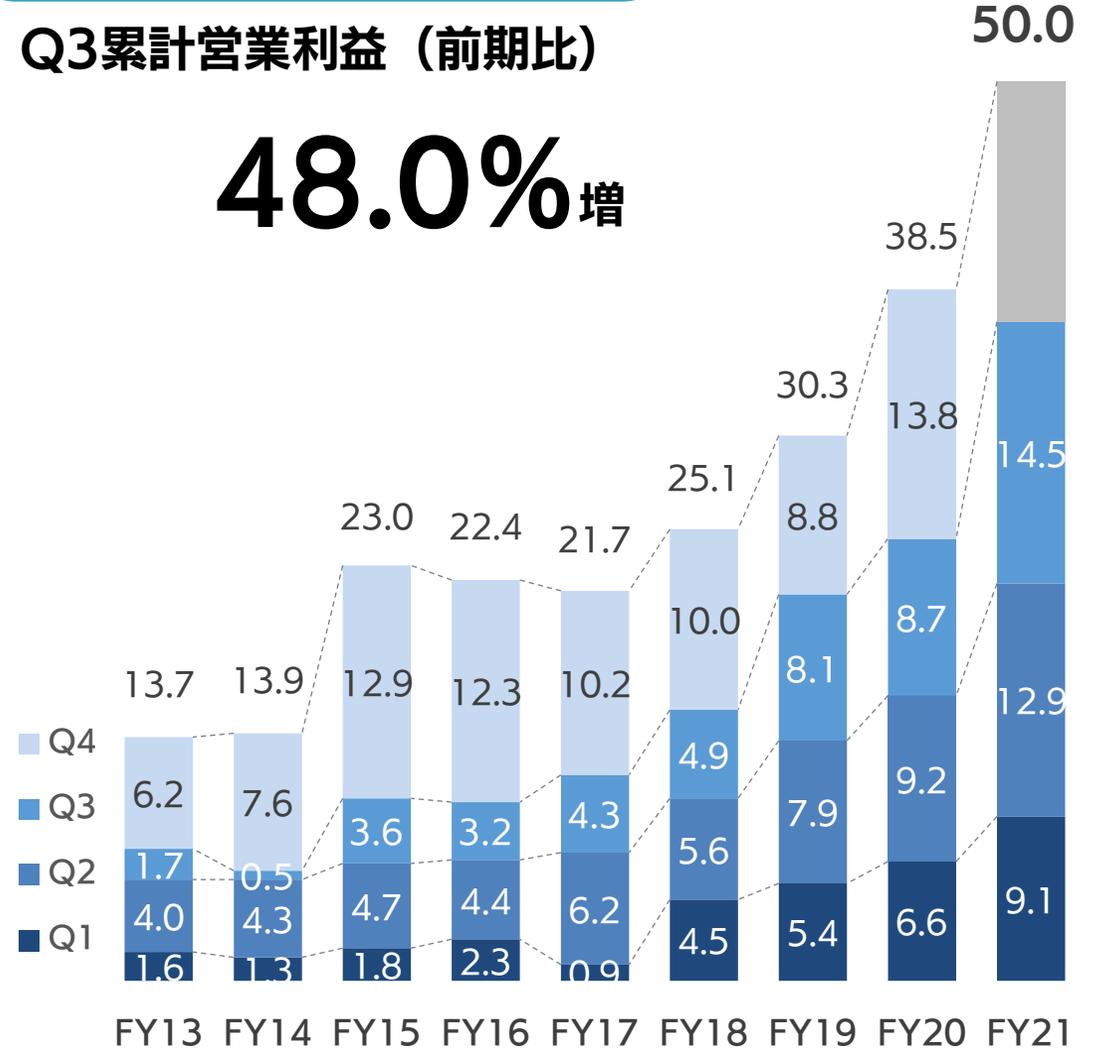
Q3累計売上高 (前期比)

32.9%増



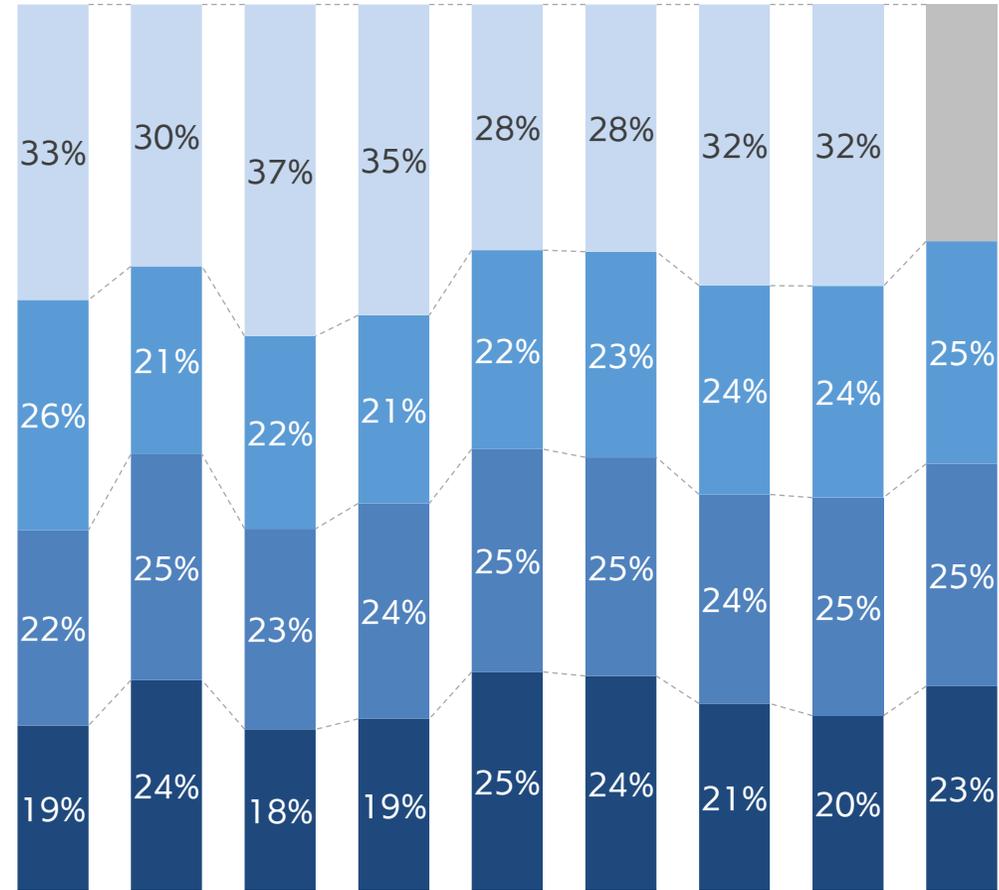
Q3累計営業利益 (前期比)

48.0%増



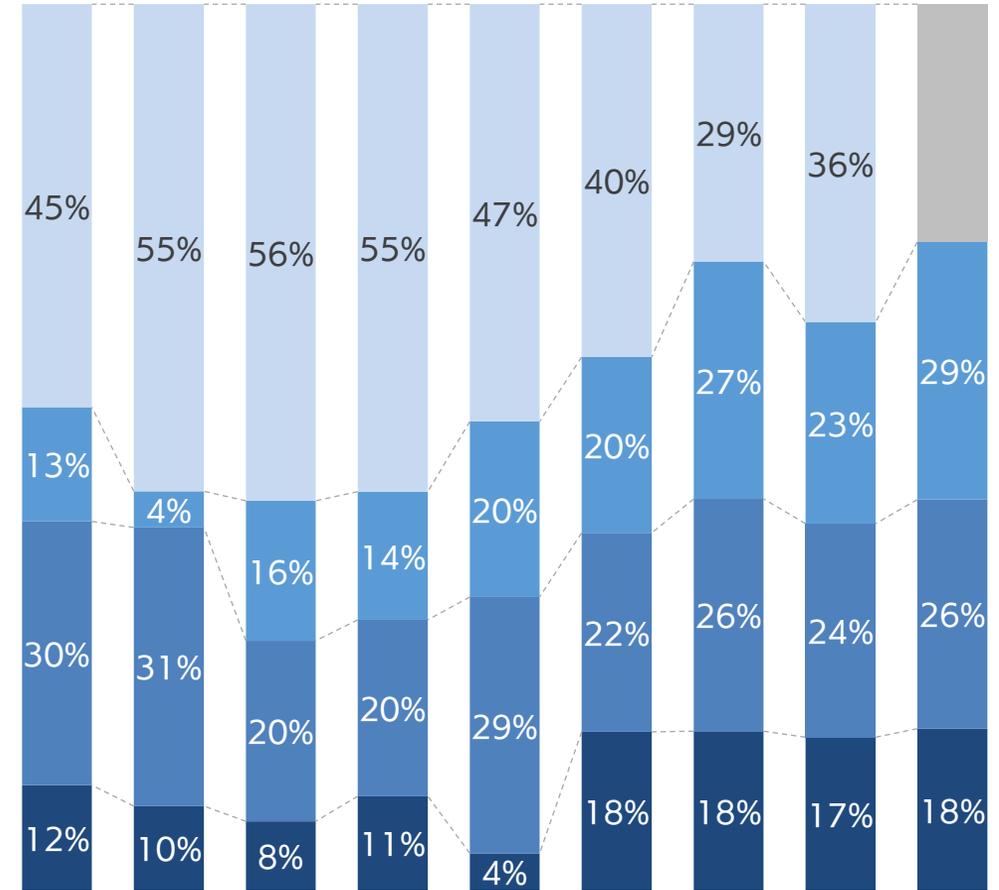
売上高

■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



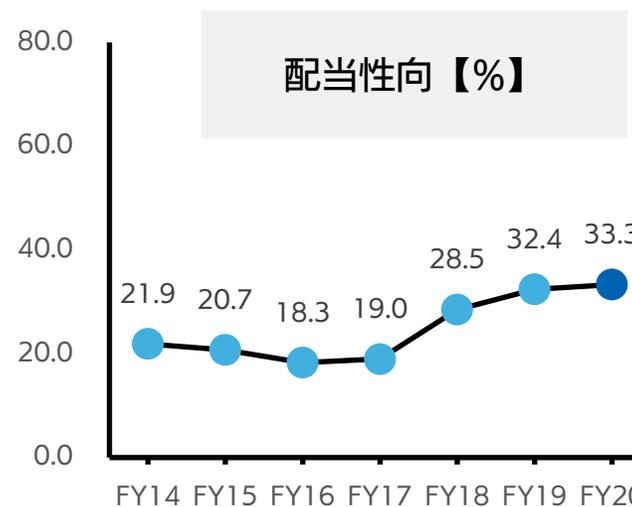
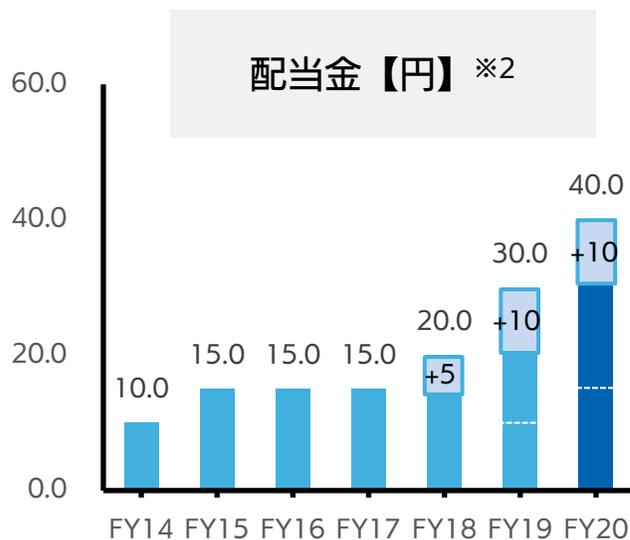
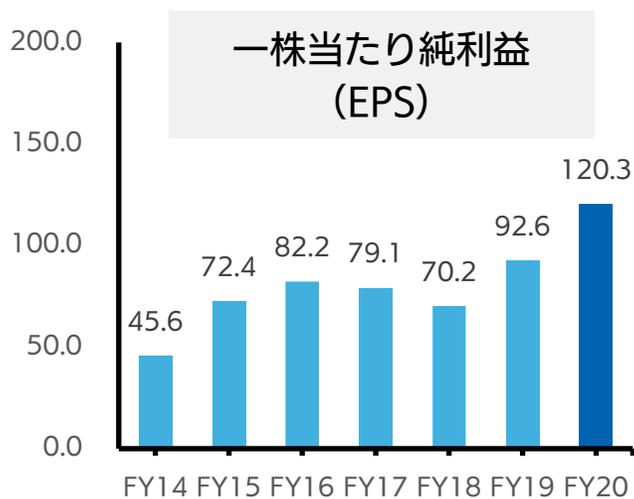
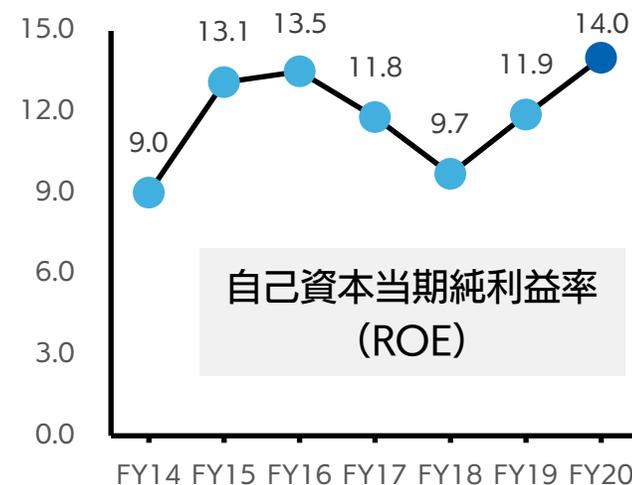
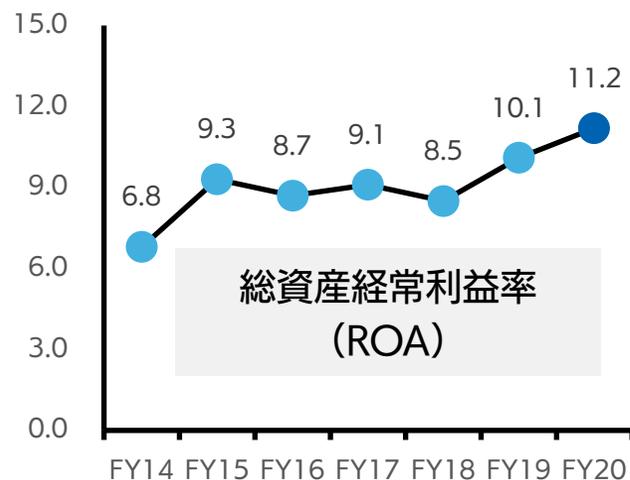
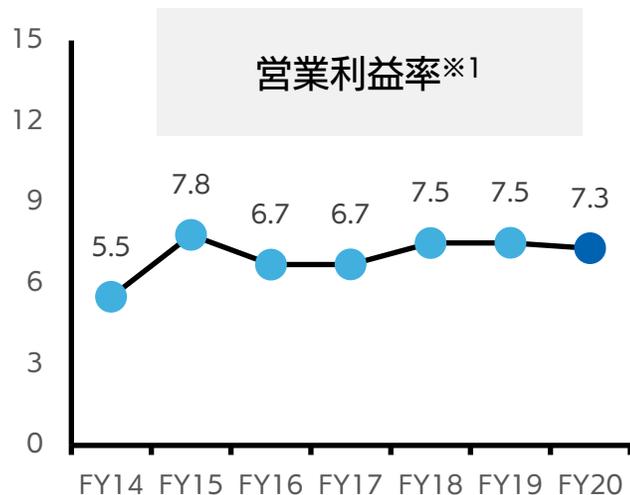
FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21

営業利益



FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21

(百万円)	2020/12末	2021/3末	2021/12末	前期末比	前年同期比
流動資産	25,225	29,135	29,817	681	4,591
現預金	9,882	9,722	8,729	△ 992	△ 1,152
受取手形・売掛金	12,624	17,428	17,580	151	4,956
固定資産	9,222	9,661	11,052	1,391	1,830
有形固定資産	1,641	1,659	2,048	388	406
無形固定資産	4,359	4,514	4,700	185	340
投資その他の資産	3,220	3,487	4,303	816	1,083
総資産	34,447	38,798	40,872	2,074	6,424
流動負債	13,354	16,907	15,852	△ 1,055	2,497
固定負債	2,543	2,313	2,112	△ 201	△ 431
純資産	18,550	19,577	22,908	3,330	4,358



※1：FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、主要な影響であるECソリューションの売上を過去から純額表示にした際の営業利益率。

※2：2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、それ以前の配当額を調整しております。

会 社 情 報

＝ SB Technology

会社概要

(2021年3月31日現在)

商号	SBテクノロジー株式会社(※)
所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業内容	ICTサービス事業
設立	1990年10月16日
資本金	1,235百万円
従業員数	連結 1,328名

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号変更しております

経営理念

Mission 存在意義

情報革命で人々を幸せに
～技術の力で、未来をつくる～

Vision 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、
社会に新しい価値を提供し続ける

Value 価値観・行動指針

3つの視点
×
3つのアクションで
多様性を認め合う



役員

(2021年7月1日現在)

取締役

代表取締役社長 CEO	阿多 親市
取締役 CSO	佐藤 光浩
取締役 CFO	岡崎 正明
取締役	金子 公彦
社外取締役	鈴木 茂男
社外取締役	宗像 義恵

監査役

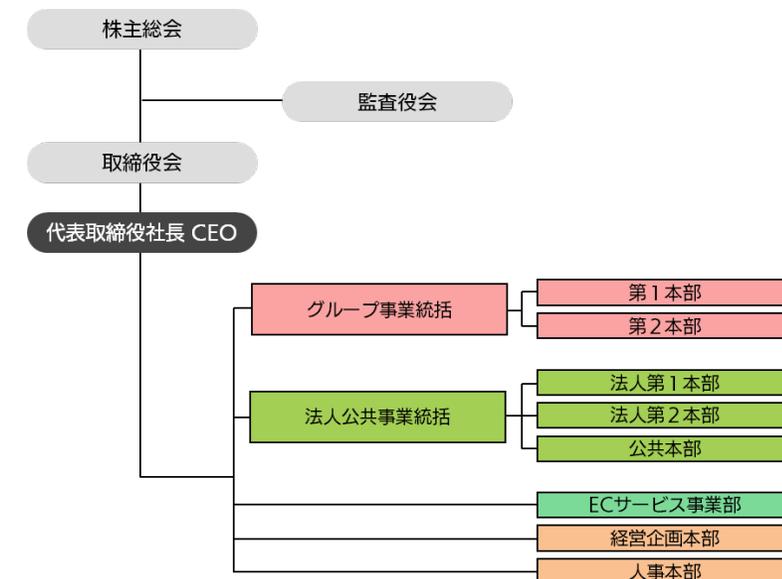
常勤監査役	上野 光正
監査役	廣瀬 治彦
監査役	中野 通明
監査役	内藤 隆志

執行役員

最高経営責任者執行役員	阿多 親市
副社長執行役員 CSO	佐藤 光浩
常務執行役員 CFO	岡崎 正明
常務執行役員 CIO	喜多村 晃
常務執行役員	渡辺 真生
上席執行役員 CCO	正岡 聖一
執行役員	児玉 崇
執行役員	青木 誠
執行役員	宮澤 拓哉

組織図

(2021年4月1日現在)



認証・認定

(2021年6月30日現在)



ISMS認証・登録範囲
新宿オフィス/芝大門開発センター
大阪オフィス/名古屋オフィス
福岡オフィス/天王洲開発センター

ソフトバンクグループ株式会社

親会社：ソフトバンク株式会社

持株数 **10,735,000株** 持株比率※ **53.08%**

2021年3月31日時点

主要な子会社 2021年4月1日時点



M-SOLUTIONS株式会社

クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステム
の設計・開発および保守・運用サービスの提供

代表者：植草 学
出資比率：100%
従業員数：51名



フォントワークス株式会社

デジタルフォント(書体)の企画・開発・販売及びソフトウェア
の開発、テクニカルサービス、OEM等の提供

代表者：原田 愛
出資比率：100%
従業員数：47名



株式会社 環

クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケー
ション改革を実現する教育コンテンツの提供

代表者：佐藤 光浩
出資比率：100%
従業員数：8名



サイバートラスト株式会社

IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサー
ビスの提供

代表者：眞柄 泰利
出資比率：71.92%
従業員数：212名



リデン株式会社

農業データの利活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援
するプラットフォームの提供

代表者：上原 郁磨
出資比率：82.57%
従業員数：3名



株式会社電縁

通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、
Webシステム開発の提供

代表者：渡辺 真生
出資比率：100%
従業員数：107名



アイ・オーシステムインテグレーション株式会社

情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供

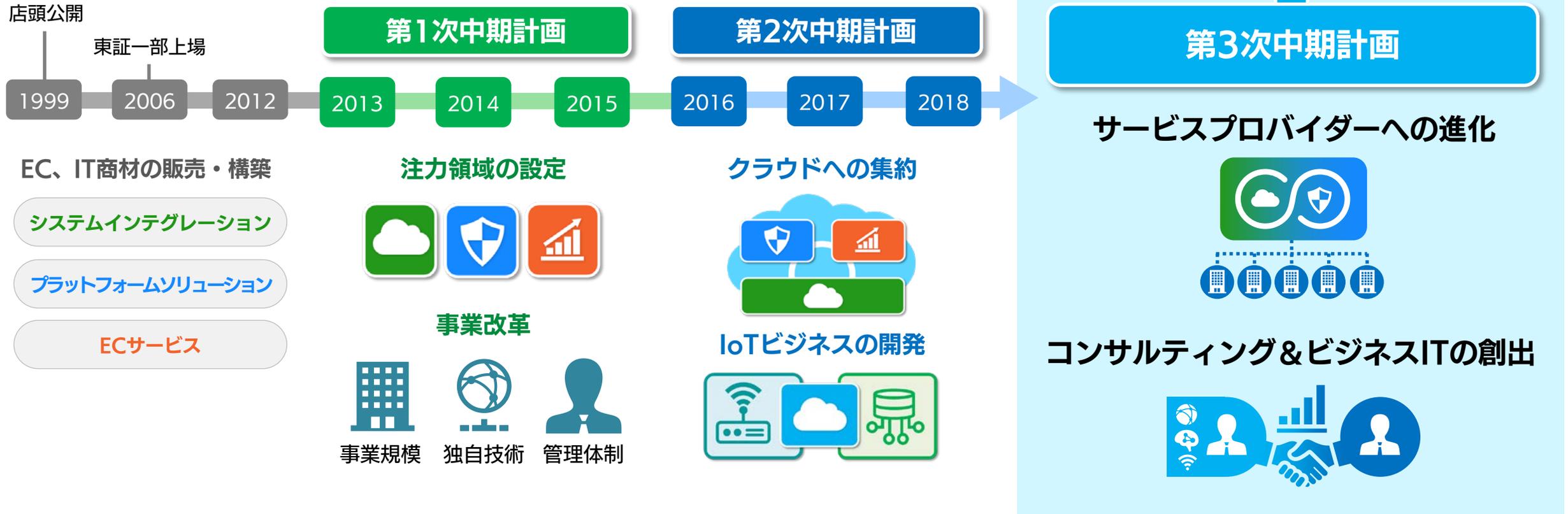
代表者：関口 雅之
出資比率：100%
従業員数：25名

長期目標と 新3か年計画の位置付け

長期目標

日本企業の競争力を高める
クラウドコンサル&サービスカンパニーへ

- クラウド&セキュリティ No.1
- 先端技術と創造性でグローバルビジネスをお客様と協創





国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

実績

クラウドサービスが普及し始めた
2009年からクラウドビジネスを開始。

**建設業、製造業、教育機関など
大手企業を中心に多数導入**

クラウド導入実績

1,119社

クラウドSI
導入実績

413社

clouXion
導入実績

706社

2020年9月時点

外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向け
に行うアワードにおいて8年連続受賞。
また、グローバルにおいては2016年
に4冠受賞、2019年にIoT部門のファ
イナリストに選出。

マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から8年連続受賞

Microsoft Worldwide
Partner Award



日本初の4冠受賞

自社ソリューション

clouXion (クラウドジョン) は、
Microsoft 365 を利活用するための当
社のクラウドソリューションブランド。

これまで大手企業向けに Microsoft 製
品の導入支援で培った知見をもとに、
「働き方改革」の具体的な課題解決の
ために生まれた。



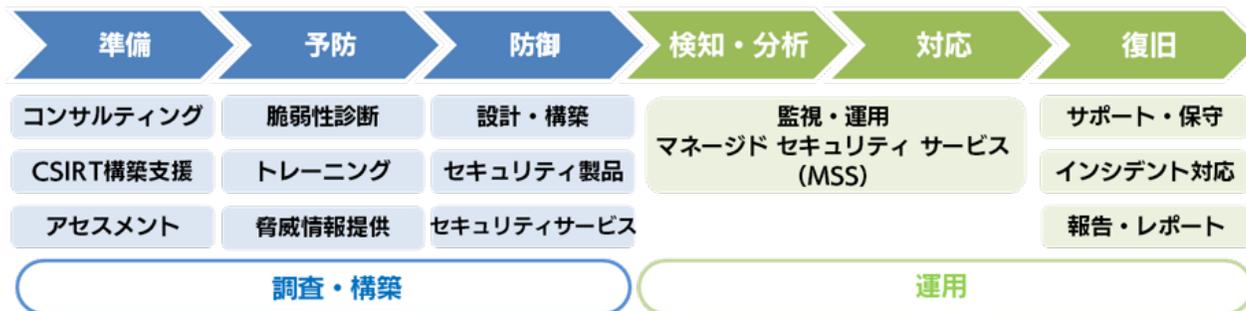
クラウドジョン



情報セキュリティのトータルソリューションを提供

当社は、インターネットが普及し始めた2000年初期からセキュリティ製品導入後の運用サービスの知見を活かし、セキュリティサービスをスタートさせました。

年々、巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視 (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。



お客様が直面する情報セキュリティの課題に対しワンストップで解決します。



生体認証を始め複数の認証方式を用いた高セキュリティルームで、専任セキュリティアナリストが24時間365日お客様のセキュリティシステムの運用・監視を行います。

※「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。

2022/1/20【事例】 ヤフー株式会社の社内ポータルサイトをOnePortal modernで構築

SharePoint Onlineでのポータルサイト構築

豊富なテンプレート/独自 Web パーツ/解析ツール



膨大な情報量でも分かりやすい社内ポータルサイトを実現し、社内認知度・満足度向上

導入の効果

- 必要な情報にアクセスしやすくなり社員認知度・満足度が向上
- 視覚的に分かりやすいサイトで、部門横断的に認識を統一
- 誰でも更新が可能となり、固有の担当者に頼らず負荷を分散

2022/1/24【サービス】 MSS for iboss Cloud Security 提供開始

ゼロトラストに基づいたiboss製品※1の運用監視

インシデント抑制 / アラートログ分析 /
モニタリング・レポート

MSS for
iboss Cloud Security

SOC※2による運用監視でシステム部門に負荷をかけず、ゼロトラスト環境を構築

サービスの特徴

- システム部門の運用負荷を軽減する、SOCの常時監視
- ゼロトラストに基づいたアクセス制御を適切に行う、専門家の分析
- インシデントへの迅速な対処を実現する、推奨対策案を含めた報告

※1米国iboss Inc. のクラウド型セキュアWebゲートウェイ「iboss Cloud Platform」。セキュアWebゲートウェイはゼロトラストにおけるユーザー防御の要として需要が高まっています。

※2「Security Operation Center」の略で、セキュリティの監視運用センターを指す。

働く人

SBT
社員数
(連結) **1,328名**
(2021年3月)

働き方

生産性向上による残業削減
42時間 → **24時間**
2015年度 2020年度

成長支援

能力開発休暇の活用 (2020年度)
取得人数 **184人** 取得総日数 **410日**

20年新卒 (連結)
45名

平均年齢
37.9歳

1人あたり有給消化率
60%

テレワーク実施率
79%
(本社オフィスFY20H2実績)

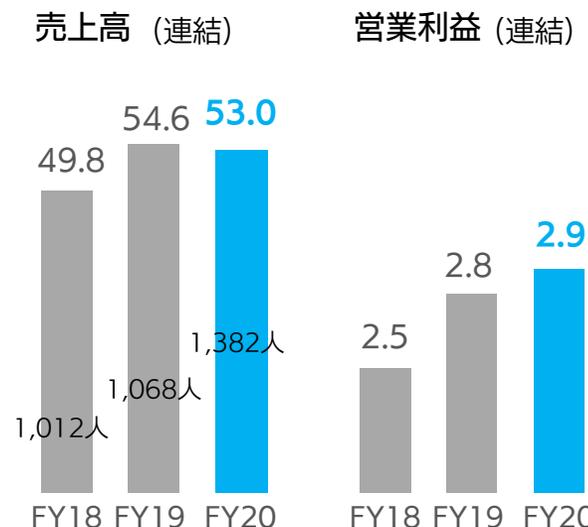
PMP保有者 **118人** CBAP保有者 **48人**
(2021年12月)

技術人員

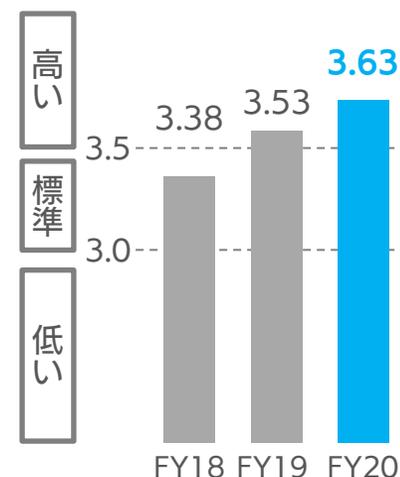
職種比率
7 : 2 : 1
(技術) (営業) (管理)

開発パートナー
約2,700人
(2021年3月)

社員1人あたり指標 (百万円)



社員総合満足度 (5段階評価)



PMP (Project Management Professional)
幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBT技術社員の22%が保有。

CBAP (Certified Business Analysis Professional)
5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験を認定する資格試験。

当社社員が働くうえで重視する指標の1位は「**やりがい**」。アンケートではやりがいに関する各指標が例年高水準

資料留意事項

1. 一部のプロジェクトに関するソリューション区分の見直しを行ったため、各ソリューション区分の前年同期の金額は現在の計上方法に則して算出しております。
2. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
3. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間の関連する連結経営成績について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology